

広告

石狩湾新港で企業訪問だワン!



イシカリワン★チワワ



◀30年以上にわたって降雪量・気温を独自に記録するほか、写真の気圧計を日々チェックして降雪に備えます。



気圧計で雪が降るかがビタッと分かるワン!



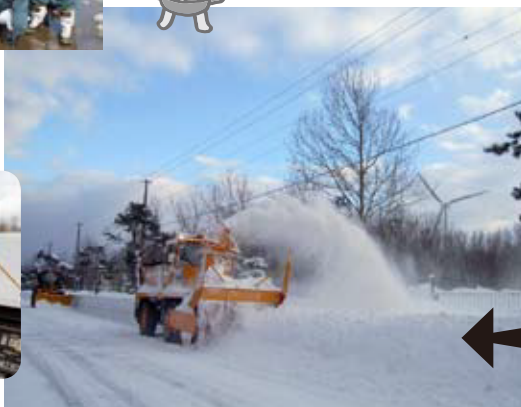
皆さん、頑張ってます!!



▲通勤ラッシュが始まる朝6時半までに除雪を完了させるため、この時期は昼夜逆転した生活になるというスタッフの皆さん。



「除雪ロータリー」は安全確認がしっかりできるよう実は左ハンドル!



▲路肩にたまった雪は「除雪ロータリー」で路側帯に飛ばします!



▲近年、集中的な降雪で幹線道路が通行止めになることも。それでも、新港地区が通行止めになったことは一度もありません!



▲「除雪トラック」で雪を集めたら



▲「除雪ドーザー」で雪を路肩に押し出す



昭和32年に北海道機械開発(株)として創業。建設工事や建設機械の賃貸を行うほか、冬期間は除雪業務にも携わります。平成20年には北旺建設(株)と合併し、「機械開発北旺(株)」として新たなスタートを切っています。除雪業務に携わる従業員数は40人。

新港地区の物流を“除雪”でサポート。

機械開発北旺(株)石狩支店

新港南1丁目28-9 ☎64-2157



わが社では、新港地区の除雪を担当しています。ここは北海道を代表する物流基地であり、ガスや灯油、チップ、あるいは生活物資を運ぶ大型車が24時間走行しています。そのため「どんなに大雪が降っても物流を止めることはできない」という使命感が私たちにはあって、深夜もパトロールを2時間おきに行うなど、急な気候の変化にも対応できるよう努めています。

新港地区は風が強い地域です。そのため、除雪しても1時間後には2車線が1車線になってしまうという場所も少なくありません。そこで、吹き溜まりができて車が行き通れるよう、路側帯の雪山は1m以下にするほか、防風林や建物の陰など吹き溜まりになりやすいスポットは事前に把握しておき、重点的に見回っています。

万が一、工場で火災などが発生した場合、緊急車両が入れないと大変です。12月から2月にかけては日々、緊張の連続です。安全を第一に、スタッフ一同頑張っている冬も新港地区の物流を支えたいと思います!



石狩地区除雪センター所長 渋谷 康春さん